



門川町教育研究所だより

ふれあい

平成29年6月 NO3
発行 門川町教育研究所
所長 新原とも子
TEL 63-1566
五十鈴小学校内(教育相談室)

子育て応援～ 5月28日 門川町一斉避難訓練いかがでしたか？

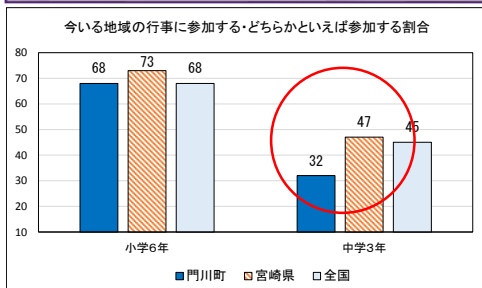
門川町では、5月28日に町一斉避難訓練を実施しました。今回は「防災リュック・ラジオ・懐中電灯を持って避難」をテーマとした津波、土砂災害避難訓練でしたが、保護者並びに地域の皆様、ご自宅から一次避難場所への避難訓練へ参加されたでしょうか？例年、訓練結果の反省意見として「親子連れや若い世代の参加が少ない」ことがあげられるそうです。特に小・中学生の訓練参加は、東日本大震災時の「釜石の奇跡」の教訓からとても重要であると思われます。地震や津波は学校にいた時だけでなく自宅や町内外にいる時でも発生します。「自分の命は自分で守る！」命を守るための訓練であることを教えていきましょう。

“かどかわ4か条”の実践で子どもを支え育みましょう！
「その4 我が町の行事に進んで参加させます！」実践で意識向上を！

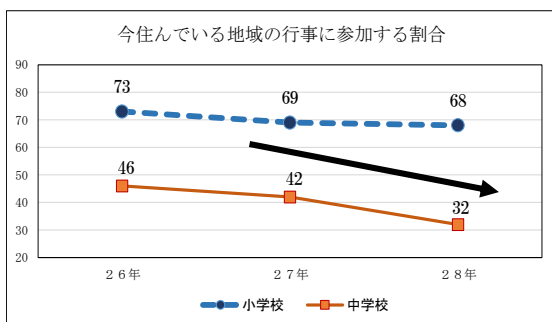
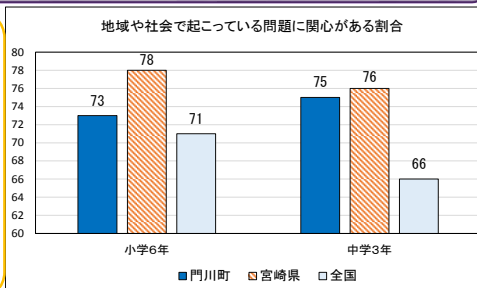


南ヶ丘地区の避難訓練の様子です。参加者は80名前後でしょうか？高齢者の方が多かったようです。防災リュック、動きやすい服装、帽子と、参加者は災害発生にいつでも対応できるように準備されていることがわかります。小中学生参加がずいぶん少なくなりました。

前年度の全国学力学習状況調査結果から見る、子どもの行事参加、関心の状況は？



居住地域の行事に参加する割合は、小6で68%、中3で32%と中学生が極端に少ない。また小中とも県平均より低い。地域への関心も全国より高いが県平均より低い状況である。



地域の行事へ参加する割合の3カ年経年変化を見ると徐々に減少してきています。特に、中学生が顕著です。小学生は約7割ですが、中学生は約3割となっており、29年度の状況がどうなるか、留意する必要があると思われます。避難訓練だけが地域の行事ではありませんが、自分の命を守るための訓練に率先して参加する意識と、周りの状況整備、環境構築が必要なのかもしれません。
“いざ”という時のためのあなたの準備は大丈夫ですか！

町教振総会で、門川町の先生方へ本年度の研究活動の概要を説明しました！

拳手はICTを使っている先生方です。
段々、増えてきました！



研究所の…

本年度はICT活用の研究3年目にあたり、まとめの年と位置づけ研究を進めます。先生方が日常の授業でICT機器やデジタル教材を活用しやすしたり、児童生徒がICTを使って学習する活動を研究したりしてICT活用能力を高め、楽しくわかりやすい授業の構築を目指します。

ICTって何だ！？



ICTということばをよく聞くようになりましたが、ICTとは一体何のことでしょうか！？英語では、Information & Communication Technology、日本語では、「情報通信技術」と訳されます。まあ何といいますか、情報通信に関わる様々な機器（ハードウェア）やソフトウェアのことだと思えばいいでしょう。コンピュータ、テレビ、ラジオ、カメラ、電子メール、通信ネットワーク、インターネット、スマートフォン、様々なソフトなど数え切れません。総称してICTと言っています。今後、学校でも必要不可欠な教育機器と教材になり、学習ツールとして活躍するでしょう。

第2弾！

本の一節
心に残った

「誰もが昔は生徒でした。教室で、グラウンドで、先生がくれた言葉に、いま、ありがとう！」。ラジオ番組「ありがとう、先生！」のナレーター純名里沙さんのナレーションです。この番組が伝える、生徒に届けられた先生の言葉をまとめた本の一節を紹介します。

〔出典：TOKYO FM 発行「ありがとう、先生！」より〕

「平気」になれるコトバ ～ 「雪が溶けると何になる？」

皆さんは何と答えますか？ 理科の授業だとしたら正解は「水」です。しかし、雪が溶けると「○○になる」という答えもあります。そんな感性も大切に、と話してくれました。ものごとをいろんな角度から見る人がなりたいと思いました。

*皆さん、お子さんと一緒に「○○」（ひらがな2字で）のところを考えてみてください。 答えは次号で！



子どもの教育や子育てで、悩んでいませんか？

困った時には、教育相談室に気軽に電話をしてください。

相談電話（門川町教育相談室）
Tel・Fax 63-1566

～～～返信欄（教育研究所便り「ふれあい」へのご意見やご感想をお聞かせください。）～～～

